

450

449

第三 興亞院 養蠶連絡部

231

REEL No. A-0283

0283

アジア歴史資料センター

東亞新秩序建設ノ大業達成ノ爲興亞院ノ現地機關タル蒙疆連絡部ヲ編成開設セラル、ヤ其ノ基礎ヲ確立スル爲軍並ニ中央ト緊密ナル連絡ヲ保チ現地政權ヲ指導シテ錯雜セル諸般ノ問題ヲ處理セリ特ニ昭和十四年九月一日現地新政權樹立ニ際シテハ萬全ノ努力ヲ傾注シテ其ノ内面指導ニ當リ遂ニ之ヲ完成スルニ到ラシメ又産業方面ニアリテハ地下資源ノ調査開發ニ意ヲ用ヒ之ニ關係セル諸會社ヲ設立セシメ以テ國防重要資源ヲ獲得スル等國家カ期待スル特種地帶蒙疆ノ建設ニ邁進セリ其主ナル業績左ノ如シ

一、軍、興亞院連絡部、其ノ他各機關ノ業務分界ヲ明ニスルコトニ努メ從來軍特務機關ノ行ヒアリシ政務指導ヲ興亞院ニ移シ墾業完遂ノ基礎ヲ作レリ

二、蒙疆ニ於ケル各種重要事項ヲ協議決定スル爲蒙疆連絡會議ヲ開催スルコトヲ定メ興亞院連絡部長官、軍參謀長、政府最高顧問之ニ出席

スルコトトシ其ノ第一回ヲ昭和十四年四月二日ニ開催シ蒙疆中央政府組織案其ノ他ヲ議決セリ

三、現地軍ノ行フ治安會議ニハ常ニ職員出席シ政務、經濟、文化方面ニ於ケル綜合治安ノ重要ナル部門ヲ擔任シ直接治安ノ確立ニ盡力スルト共ニ現地中堅層ノ指導ニハ特ニ力ヲ用ヒ機會ヲ求メテ之ヲ集メ適切ナル指導ヲ行ヒ國防第一線ノ日本人ヲシテ自肅自戒常ニ國策ニ悖ラサル活動ヲナサシメタリ

四、蒙疆統一政權樹立ニ關シテハ統一政權樹立ノ第一歩トシテ德王其ノ他蒙古王侯十數氏ヲ説得シ彼等ヲシテ欣喜之ニ協力センコトヲ誓ハシメ且ツ德王ニ蒙疆聯合委員會總務委員長タルコトヲ受諾就任セシメタリ

而シテ昭和十四年九月一日遂ニ察南、晋北、蒙古ノ三政權ヲ統合シ德王ヲ主席トスル蒙古聯合自治政府ヲ成立セシメタリ
尙之ニ先立テ昭和十四年八月課稅權ノ圓滑ナル行使ヲ圖ル爲之カ中央直轄機關トシテ稅務監督署ヲ新設シ指揮監督ニ當ラシメタリ

五、蒙古聯合自治政府成立以來各種官制並ニ各種法令規則ノ改廢ヲ行ハシメ或ハ政府機構ヲ強化セシメ同政府ノ基礎ヲ漸次鞏固ナラシメタリ昭和十四年十一月蒙古聯合自治政府カ洮源縣ニ辦事處ヲ設ケ治安回復工作ヲ實施スルヤ或ハ職員ヲ派シシテ之カ援助指導ヲ行ヘリ

六、支那事變處理ニ重要新段階ヲ齒スヘキ支那中央政權ノ樹立工作ニ關シテハ其成功ヲ希望シ屢々事務連絡ノ爲北京、南京、青島ニ長官出張シ重要案件ニ對シ適切ナル意見ヲ開陳セリ

七、産業ヲ振興シ財政ヲ確立スルコトノ急務ナルヲ認メ蒙疆火柴股份有限公司、一郡煉瓦無限制公司、蒙疆汽車公司、雲母股份有限公司其ノ他ノ會社ノ設立ヲ承認シ阿片取締制度ノ實施、監專賣制度ノ實施等ヲ指導シテ昭和十四年七月一日ヨリ之ヲ行ハンメ其ノ他幣制ノ統一鞏化ノ徹底ヲ期スル爲通貨取締ニ關スル佈告ヲ發セシメタリ

八、畜産ハ蒙疆ニ於ケル重要産業ナルニ鑑ミ之カ發達ヲ圖ル爲蒙疆畜産股份有限公司、無限制公司、鈴蘭牧場ノ設立ニ盡力シ且民營牧畜場設置要綱ノ決定公布ヲ指導シ並ニ軍用畜産資源ノ培養羊毛及毛皮類ノ

不當流出防止ノ爲家畜搬出取締法ヲ公布セシメタリ

九、昭和十四年八月ヨリ十二月ニ至ル間蒙疆ニ於ケル地下資源特ニ重要國防資源ノ調査ヲ實施セシメ有益ナル資料ヲ提出セシメタリ

一〇、日本ノ石炭不足ニ對應シ蒙疆ヨリ極力増産セシムル爲從來ヨリ指導シ來リタル下花園炭坑、大青山炭坑ニ對シ其ノ増産促進ニ努力セシメ大同炭ノ對日輸送ニ關シテハ協議研究ヲ重ネテ其ノ成績向上ニ努メ豫テ暑リ着々準備シ來レル大同炭坑會社ヲシテ昭和十五年一月十日設立總會ヲ開カシムルニ到ランメタリ

一一、昭和十四年夏ニ於ケル未曾有ノ水害ニ際シテハ機ヲ失セス委員ヲ編成シ復舊、救恤ニ盡力シ水害ニ伴フ暴利取締令ヲ公布セシメル等治安ノ維持ニ努メタリ

一二、昭和十四年秋以來蒙疆ニ於ケル物價ノ漸騰ニ當リ物價統制對策ヲ樹立セシメ以テ民心ノ安定治安ノ維持ニ努メタリ

一三、昭和十四年九月管内各宗教團體ヲ各宗教別ニ集合セシメ宗教大會ヲ開催シテ民心ノ把握並ニ防共ヲ中心トスル團結ノ氣運ヲ醸成セシメ

456

455

タリ
 一 四文化方面ニ於テハ蒙古文化事業協會ヲ設立シ文化事業實ノ有効適切ナル使用ヲ計畫シ日本語普及、宗教団体、慈善団体、日本人修養団体、善隣協會等ヲ指導シテ蒙疆ニ於ケル文化ノ向上ヲ圖レリ

以上

234

各部局別功績概況書

總務課

一、當初現地車ヨリ派遣セラレタル籌備員六名ヲ以テ假廳舎ノ假營ノ諸調度品ノ整備、職員宿舎ノ調達等萬般ノ應急開設事務ニ當リ物情未タ安定セサルニ拘ラス不眠不休其ノ礎石ヲ布キタリ

漸クニシテ中央ヨリノ派遣職員並現地採用者ヲ以テ次第ニ陣容ヲ整備シ其職能上長官ニ直隸シテ籌畫ニ參シ各部局ノ調整ニ當リ來レリ

二、即チ部ノ根幹タルヘキ人事ニ於テハ常ニ中央ノ方針ニ則リ長官ノ意圖ヲ体シ事務的ニ定メラレタル各般ノ處理ニ遺漏ナキヲ期スノミナラス進ンテ優秀ナル人材ヲ招致シ常ニ之ヲ戒メテ其ノ公私ノ生活ニ於テ聊カノ過誤ナカラシメ國策ノ第一戰ニ挺身奉公セシムルタメ法規訓令迪達ノ遵守、服務上ノ諸心得ノ示達ハ固ヨリ各種ノ訓練施設ヲ講シ以テ其ノ資質ノ向上練成ヲ圖レリ

三、文書ノ處理ニ當リテハ其ノ生命タル迅速確實ヲ信條トシ常ニ各課ノ活

動ニ協調スルト共ニ記録ノ作製保存ニ萬全ヲ期セリ特ニ電信業務ハ其ノ性質上敏活ナル接受発信ト機密ノ確保ヲ最高度ニ要請スルモノナルヲ以テ其ノ有スル有線設備ヲ以テ中央並各機關トノ間ニ於ケル交渉ニ最大能率ヲ發揮シ部ノ活動ニ聊カノ支障ヲモ生セシメサルタメ萬全ノ努力ヲ傾注シ來レリ

四、部内外ノ連絡調整、儀式典禮、隨時生起ノ諸行事ノ執行、外來者ノ應接、廳中取締、職員ノ福利施設ノ實施等萬般ノ庶務事項ノ處理ニ到リテハ創設ノ際極メテ煩雜ナル障害アリタルモ之ヲ排除シテ圓滑ナル遂行ヲ爲シタリ

五、豫算ノ編成、決算ノ整理、金錢ノ出納、物品ノ購入配付保管、廳舎宿舍ノ借受新營修理等ノ會計業務ニ於テハ各種ノ惡條件ヲ克服シテ極メテ確實ニ適正迅速ナル處理ヲ爲シ最少ノ資材ヲ以テ最大ノ效率ヲ發揮スヘク嚆心セリ

六、之ヲ要スルニ當課ハ其ノ性質上全廳ノ心臟部ニ當リ之ヲ起點トシテ十全ナル進行ヲ爲スヘキモノナルヲ以テ居常其ノ使命ヲ痛感シ課員協力

460

459

一致部ノ能率發揚ノ爲メ克ク長官ヲ補佐シテ其ノ業務遂行ニ違算ナカラシメタリ

236

REEL No. A-0283

0243

アジア歴史資料センター

調査課

施政ノ基礎條件タル各般ノ資料ノ調査整備ハ蒙疆地域ノ如キ開發未タ其ノ緒ニ着カムトシツツアルモノニ於テ特ニ喫緊ノ要務タリ 茲ニ於テ連絡部開設當初ハ總務課ニ調査班ヲ設ケ半歳余ニシテ之ヲ獨立セシメテ調査課ト爲シ中央ノ指令ノ下ニ關係各機關、部内各課ト連絡ヲ密ニシ政治經濟文化ノ施政百般ニ涉リ企畫立案ノ上其ノ最モ急ヲ要スルモノヨリ逐次基礎調査ニ着手セリ係員ハ各種ノ惡條件ヲ一掃シ人跡稀レナル内蒙ノ輿地ニ或ハ酷寒ヲ冒シ幾多ノ艱難ヲ克服シテ貴重ナル資料ノ蒐集、整理報告ニ挺身シ蒙疆ノ施政ニ貢獻シタリ

一 連絡部業務編成

連絡部開設ト共ニ部課編成ノ要アリ昭和十四年三月連絡部業務暫行規定ヲ連絡部業務處理ノ方針ヲ定メ同年六月總務課、政務課、經濟課、文化課ノ四課ヲ設ケ業務分課規定ヲ定メ編成ノ基礎ヲ樹立シ昭和十四年十月調査班ヲ調査課トシ分課規定ノ改正ヲ實施シ編成ノ確立ヲ行ヒタリ

二 軍部トノ業務協定

昭和十四年三月連絡部開設セラルルヤ直チニ軍、興亞院連絡部ノ業務分界ヲ明ニスルコトニ努メ從來軍務機關ニ於テ行ヒアリタル政務指導ヲ引續キ業務處理ノ圓滿完遂ノ基礎ヲ樹立セリ

三 政務指導

日本軍ノ蒙疆地域占領後察南自治政府晋北自治政府蒙古聯合自治政府ノ三自治政府樹立セシ其ノ上ニ蒙疆聯合委員會アリテ三自治

政府ヲ統制シアリタルモ内外ノ事情ハ統一政權確立ノ必要ニ迫ラレタルヲ以テ蒙古王侯ノ協力ヲ嚮ハシメ昭和十四年九月一日右三政權ヲ統合シ蒙古聯合自治政府ヲ成立セシメタリ

2 蒙古聯合自治政府成立ニ應キ各種官制並法令規則ノ改廢ヲ實施セシメ或ハ政府機構ヲ強化セシメ中央政府ノ基礎ヲ漸次鞏固ナラシメタリ

3 疆内治安肅正工作上昭和十四年十二月晋北、察南、兩境ニ政府ヲシテ辦事處ヲ設置セシメ或ハ現地ニ職員ヲ派スル等之ガ回復工作ヲ指導援助セリ

4 支那事務處理ニ重要新段階ヲ開スベキ支那中央政權ノ樹立工作ニ關シ蒙古政府ヲ指導シテ協力セシメ青島會議、南京會議ニ出席セシメ蒙古ノ高度自治制ノ確立等ニ適切ナル指導ヲナセリ

5 産業振興財政確立ノ業務ナルヲ脱キ各種會社ノ設立阿片取締制度ノ實施專賣制度等ノ實施、幣制ノ統一鞏固ノ徹底ヲ期スル爲メ貨取締ニ關スル傳告ヲ發セシメタリ

6 農産ニ於ケル重要産業タル畜産ノ發達ヲ圖ル爲畜産公司牧場ノ設
 立並民營牧畜場設置要綱ノ決定公布ヲ指導シ軍用畜産資源ノ培養
 羊毛毛皮類ノ不當流出防止ノ爲家畜搬出取締令ノ公布ヲナサシメ
 タリ
 7 昭和十四年夏ノ水害ニ際シテハ復舊救恤ニ委員ヲ編成シテ盡力セ
 シメ暴利取締令ヲ公布セシメ治安ノ維持ニ努メシメタリ
 又同年秋以來ノ物價ノ漸騰ニ當リ物價統制對策ヲ樹立セシメ民心
 ノ安定治安ノ維持ニ努メシメタリ
 8 右ノ如ク軍政中央ト密接ナル連絡ヲ保チ現地政權ヲ指導シテ備蓄
 セル諸般ノ問題ヲ處理シ地下資源ノ開發國防重要資源ノ獲得等國
 家カ期待スル特殊地帶發展ノ建設ニ邁進セリ

一、經濟一般

生産擴充局面ニ於テハ戰時下日本ノ最モ強ク要請セラルル鐵・石炭等ノ増産ヲ期シ昭和十四年七月龍崎鐵鋼株式會社、昭和十五年一月大同炭礦株式會社ヲ各々設立シ且ツ之ニ必要ナル資金資材ハ優先的ニ之ヲ導入セシメ以テ日本ノ政策ニ即應シタリ

其ノ他國內自給經濟體制ノ確立ヲ目途トシ金融面ニ於テハ通貨價值維持上極力通貨貨ノ回收ヲ圖リ且ツ貨幣取締會ヲ公布シ幣制ノ統一ヲ期シ、貿易面ニ於テハ國際收支ノ適合ヲ期スルト共ニ重要物資ノ確保及之ガ供給・價格ノ調節ヲ圖ル爲貿易統制法、暴利取締令等ヲ公布シ又一部公定價格制ヲ採用シ之ガ万全ヲ期シタリ、一般産業部門ニ於テハ煙草、繭寸、麵粉等生活必需物資ニシテ立地條件ニ適應シタル聯合會社ヲ設立セシメ以テ戰時經濟ノ發展ヲ圖リ極テハ東亞共

榮國ノ確立ニ寄與シタリ

二、通貨金融物價

1. 昭和十四年五月貨幣取締令ヲ公布シ中國聯合準備銀行券ノ流通ヲ禁止シ十月ニハ舊銅元ノ流通禁止及回收ニ關スル件ヲ公佈シ幣制ノ統一ヲ圖リタリ

2. 昭和十四年九月一日ヨリ滿洲國幣百圓券ノ受入及兌換ヲ停止シ滿洲國爲替管理ニ協力スルト共ニ假借券ノ價值維持ヲ圖リタリ

3. 昭和十四年十一月官吏義務會規定昭和十五年三月郵便儲蓄金法ヲ制定シ官吏ハ勿論一般商工業者ニモ貯蓄ヲ奨励シ以テ浮遊資金ノ回收ヲ圖ルト共ニ物品販賣價格取締規則及暴利取締令ヲ公布シ又昭和十五年三月ニハ糧穀類ノ最高標準價格ニ關スル訓令ヲ公布シ以テ物價ノ高騰ヲ防止シ生産擴充及軍需物資ノ調達ニ寄與シタリ

三、爲替貿易

1. 昭和十四年十月貿易統制法及同規則ヲ制定公布シ重要物資ヲ確保及之ガ供給價格ノ調節ヲ圖ルト共ニ國際收支ノ適合ヲ期シタリ

2 昭和十四年十月家畜搬出取締法及同施行規則ヲ公布シ軍用家畜賣
 源ノ確保培養ヲ圖リ獸毛、獸皮ノ流出ヲ防止シタリ

3 昭和十四年十二月食糧食料品輸入組合ヲ又昭和十五年二月食糧邦
 人食糧米移入配給組合ヲ設立セシメ生活必需品物資ノ確保ヲ期シタ
 リ

四 税制、阿片、鹽

1 税制ハ舊國民政府ニ於テ制定セル税法ヲ一應其ノ體裁變シタルヲ
 以テ不合理ノ點アリタルモ之ガ急激ナル改正ハ一般民生ノ安定上
 影響スル處大ナルト一面稅收入ノ減收ヲ招來スル虞アリタルヲ以
 テ根本的改正ハ之ヲ避ケ部分的改正ヲ行ハシメタリ

2 昭和十五年四月禁煙特稅法ヲ制定施行シ稅ノ增收ヲ圖ルト共ニ阿
 片收買放出資金ヲ回收セシメタリ

3 昭和十四年六月清査總署官制ヲ公布スルト共ニ暫行阿片管理令ヲ
 公布シ阿片ノ栽培收納配給ヲ一元的ニ統制シ以テ東亞ノ阿片政策
 ニ寄與セシメタリ

4 昭和十四年六月權運總署官制及鹽法ヲ制定公布シ且ツ社團法人銀
 鹽業組合ヲ組織セシメ鹽ノ製造、收買、販賣ヲ一元的ニ統制シ
 需給及價格ノ調整ヲ圖リタリ

五 會社ノ指導監督

1 開發産業ニ付テハ龍烟鐵礦會社、大同炭礦會社、大青山炭礦會社
 等ノ設立ヲ圖ラシメ時變下日本ノ要請ニ基ク鐵礦石、石炭等ノ對
 日供給ノ確保ヲ圖カシムルト共ニ更ニ之ガ開發増産ノ進行ニ付特
 ニ監督指導ヲ加ヘタリ

2 其他一般産業ニ付テハ舊國ノ經濟事情ト企業ノ立地條件ト勘案シ
 鹽造、鑛寸其他十余社ノ企業新設ヲ認メ假設事業ト共ニソノ事業
 計畫ノ進行並ニ之ニ要スル資金資材ノ調達ニ付テモ充分ナル斡旋
 並ニ監督ヲ加ヘ之等産業ノ育成指導ニ付キ遺憾ナカラシメタリ

六 物產貿易關係

1 鐵道ニ於ケル昭和十五年度物產總動員並貿易計畫ハ資金ノ放出回收
 額ヨリ勘案對日供給額ニキセシメ〇千圓對日期待額中物產物資セ二一

張北縣集沙渠・馬蓮花渠・大陽坡・機被客・固陽縣城附近
 安北縣極馬格・十一分子・余仁鄉
 錫林郭勒盟ダイラエハスム・マントヒデスム・ハンボスム・
 西ウチユムチン・貝子廟
 鐵嶺石
 烏蘭察布盟・白雲鄂博・善隣鐵山
 石 堡
 興和縣・黃山客
 石 舖
 安北縣・後口子
 固陽縣・廣業公郭
 鉛・亞鉛
 天鎮縣龍地溝・龍谷溝・九墩溝
 興和縣 二道梁
 張北縣 銀河梁

赤城縣 樓田堡
 盤 石

錫林郭勒盟 二連バイヤンオホ

2 農林・畜産關係

(1) 農產増産ニ關スル件

支那ニ於ケル農軍占據地區内ニ於テ消費セラルル阿片ハ大部分
 不正第三國人ノ密輸入ニ依リテ供給セラレツツアリ斯クテハ帝
 國ノ對支經濟政策上甚ダ不利ナル情勢ニアルヲ以テ之ヲ圖「ブ
 ロツク」内ヨリ供給スルニ努ムルノ要與果ナルニ備ミ之ガ緊急
 増産ニ關シ駐軍ヨリ要請アリ依ツテ昭和十四年四月政府ヲ督
 勵シ所要ノ増産對策ヲ講セシメタリ

(2) 畜産振興對策ニ關スル件

地區内畜産資源ノ生産力擴充ヲ期スル爲五月十八日駐軍主體
 ヲ以テ畜産振興協議會開催セラレ左記ノ各件ニ關シ慎重審議ノ
 結果昭和十四年五月夫々次ノ如ク決定セリ

各營地ノ設定ニ關スル件
 本年度冬營地ヲ察望、太僕寺右翼旗、烏盟百靈廟、錫盟、東
 ソニツト、西ソニツトノ四ヶ所ニ置キ飼料ノ集積、家畜診療
 等ニ萬遺憾ナキヲ期スルコト
 家畜防疫対策ニ關スル件
 厚和家畜防疫處ノ擴充ヲ圖ルト共ニ官公吏及中區層、喇嘛僧
 ニ對スル普及徹底ヲ圖ルコト
 官屬牧場内容充實対策
 綿羊改良対策
 金靈院ノ計畫ニ即應シ八年計畫ヲ以テ改良羊毛對日供給年五
 百萬匹ヲ目標トシテ着手ノコト然當リ織紡ヲシテ一千頭、東
 拓ヲシテ五千五百頭ヲ輸入セシム
 密輸出防止手段
 爾後本編議會ニ於テ決定セル前記各事項ニ基キ政府ヲ督勵シ爾
 後ノ施策進行上遺憾ナキヲ期セシメツツアリ

ハ 蒙疆畜産懇談會開催ニ關スル件
 蒙疆ニ於ケル畜産振興対策ニ就テハ關係方面ニ於テ慎重審議セ
 ラレ其ノ根本方針ハ確立セラレタルガ之ガ具體的實行ニ當ツテ
 ハ種々困難ナル問題發生シ爲ニ兎角事業ノ進行鈍リ勝チナルハ
 他ニ幾多ノ例ヲ見ル所ニシテ斯ル問題ヲ圖滑ニ解決シ又將來起
 ルベキ問題ヲ豫想シテ事前ニ其ノ対策ヲ練リ置ク事ハ極メテ重
 要ナリ之ガ爲ニハ廣キ意味ニ於ケル畜産關係者ガ當ニ緊密ナル
 連絡提携ヲ保ツコト肝要ニシテ斯ル見地ヨリ各關係方面ニ接衝
 ノ結果概ネ毎月一四關係者ノ懇談會ヲ開催シ與互諒其ノ幹旋役
 ヲ努ムルコトトナリタリ
 第一回ハ昭和十五年二月廿四日之ヲ開催シ爾來之ヲ繼續實施シ
 蒙疆畜産政策進行上大ナル成果ヲ收メツツアリ
 ニ 農林畜産關係調査
 昭和十四年度ニ於テハ普通連絡部ノ計畫ニ係ル農林畜産關係調査
 ハ水稻栽培状況調査(十五年三月)ノミナルモ十四年八月ヨリ

478

477

十一月ニ至ル三ヶ月間ニ亘リ本院ヨリ農林畜産ノ部門ニ亘ツテ
調査員派遣サレ當連絡部トシテハ之ニ萬全ノ協カヲナシタリ

245

REEL No. A-0283



アジア歴史資料センター

一、教育思想

1. 善隣協會分離問題

昭和八年十一月創設ノ善隣協會ハ東京ニ本部ヲ、新京ニ事務所ヲ
内閣ニ事業遂行ヲ置キ事業ヲ實施シ來リシガ日支事變後現地ニ於ル
事業ヲ新事業ニ即應シテ改革擴充スル必要起リシト東京ノ指導下
ニアリテハ動モスレバソノ難財ヲ受ケ意ノ如キ活動ヲナシ得ザル
嫌ヒアリシタメ東京本部ヨリ分離セシムルコトニ決定シ十四年十
二月正式ニ分離シ爾來獨自ノ活動ヲナスコトトナリタリ

2. 對支日本人訓練

現地ニ於ケル日本人ノ修養團體トシテハ駱駝會(張家口)興亞青
年隊(大同)青都會(厚和)西北會(瓦頭)等アリ、座談會講演
會等ヲ隨時開催スル程度ニシテソノ活動不活發ナリシ爲之ヲ現地
ニ活躍スル中堅青年ノ積極的養成機關タラシムル如ク指導援助シ

逐次ソノ効果ヲ收メタリ

3. 日本語普及

主要地ニ於ケル日本語學校ノ設立整備擴充ニ重點ヲ指向シ以テ事變
終息期政權統合初期ニ於ケル日本語普及ノ基礎ヲ築キ併セテ直チニ
現地人ノ東亞新秩序建設ニ参加シ得ル人物ノ養成、日本精神日本
文化ノ鼓吹ニ寄與スルトコロ大ナラシメタリ

4. 日語對策協議會

日語普及方法ノ一トシテ日語對策協議會ヲ開催シ各地ニ於ケル日
語普及ノ現況ヲ報告セシメ併セテ將來普及ノ對策、仮名遣ノ問題
教授法ノ研究、教材ノ問題等幾多異議ナル意見ノ開陳ヲ見タリ

5. 白系露人子弟ノ教育指導

天津白系露人防共委員會張家口支會ノ設立ニ係ル白系露人小學校ノ
教育方針ヲシテ新ニ設置政權ニ對スル協力、親日思想ノ培養等ニ
努メシムベク指導セリ

6. 復讐文化指導計畫立案

本院作成ノ「支那文化指導要領」(昭和十四年八月)ニ基キ現地ニ即スル蒙疆文化指導計畫並ニソノ實施要領ヲ作成シ本院ニ報告セリ

2 興運協進會ノ設立並ニ活動方針ノ指導、晋北政廳ニ於テ滿洲國協和會ノ如キ組織ト機能ヲ有スル機關ヲ設立シタキ計畫アリタルヲ以テ當部ハ政府ノ施政ヲ妨ゲザルヤウ職ニ注意スルト同時ニ協和會存在ノ利害ト照合シ此ガ新政權ノ政治力滲透ニ協力シ特ニ文化運動ニ重點ヲ置ク如ク指導セリ

3 蒙疆教育會結成

昭和十四年十二月蒙古政府内ニ蒙疆教育會ヲ設立セシメ教員ノ訓練習、教育關係圖書ノ編纂發行、日語ノ普及等ヲソノ主ナル事業目的トシテソノ育成發展ヲ援助セリ

ニ 宗教文藝

1 宗教團體助成

政府ノ宗教大會開催ヲ指導援助シ地區内各派宗教家僧侶ノ對日感

力・對政權協力ヲ奮ハシメ多大ノ收穫アリタリ、其ノ他德化ニ喇嘛青年訓練所ヲ創設シテ喇嘛教ノ改善並ヒテハ蒙古復興ニ邁進スベキ青年喇嘛ヲ教育シ又晋北、察南佛敎學院ノ漢人佛敎僧侶ノ再教育等ノ指導ニ努力セリ

2 蒙疆僧拓文化會ノ創設

現地人ニ對スル生活指導等、文化宣傳啓蒙工作ヲソノ目的トシテ有志團ニ新ニ蒙疆僧拓文化會ヲ結成セシメ、併セテ蒙疆文藝ノ正シキ進マ方ニツキ指針ヲ與ヘタリ

3 蒙古人ノ日本視察

日本ヲ認識セシメ日本ニ對スル信頼依存ノ念ヲ高ムル爲蒙古ノ要人青年六名ヲ日本ニ派遣シ所期ノ目的ヲ達成シタリ

4 蒙古文化研究所

事業前傳作遺政權ノ經營ニ係リ事業後資金難ノ爲氣息奄々タリシモノヲ物質的精神的ニ援助シ蒙疆ニ於ケル文化研究機關トシテ獨自ノ結果ヲ發揮スル機、事業指導ヲ爲シ西北、蒙古ニ關スル文獻

三 醫療衛生

ノ官立厚和醫院設置

調査、復文圖書編集發行等ニ主力ヲ向ケンメタリ
十三年八月蒙古聯盟自治政府、蒙疆聯合委員會共同出資ニ依ル設立ノ議起リ、十四年三月當郡開設直後之ガ完成ヲ指導シ十四年九月第一期工事ニ着手セシメ十五年四月第二期工事ヲ經テ同十一月落成セリ

2 醫藥品ノ供給數量調査

十四年九月本院ヨリノ要求ニ依リ察南政廳及察哈爾盟公署管内主要取扱店ニ付、運給藥外五十七品目ノ藥品ヲ調査シ、十月本院へ報告セリ

3 官立晋北醫院開設指導

晋北管内ニ於テハ英國系基督教付屬普善醫院閉鎖後之ニ代ルベキ施設ノ開設方ヲ指導シ、大同城内ニアル關帝廟ヲ修復セシメ十五年一月開院センメタリ

四 其他

ノ社會事業

事變後ニ於ケル現地人心把握ノ爲ニハ大衆ニ對スル宣傳教育ノ要アリト認メ、張家口、大同、厚和、瓦頭等主要ナル地ノ七團體ニ對シ隨時助成金ヲ下付スル等適切ナル指導ヲナセリ

2 水害調査

十四年六月、七月ノ降雨ニ依リ水害ヲ受ケタル管下地區ニ當郡トシテモ三個班ノ調査隊ヲ派遣シタルガ、文化課員亦之ニ参加シ、罹災民救恤ト交通機關復舊ノ基礎資料ヲ獲タリ

3 紙芝居講習會開催

文化ノ程度低キ當地方ニ於テハ民衆ニ對スル宣傳教育上紙芝居ヲ適當ト認メ、東京ヨリ松水文學士ヲ招聘、日系現地系關係者多數ヲ會シ、三日間講習ヲ實施シタリ

4 雲崗石佛保存ニ關スル指導

東大原田教授、東京文化學院水野所員、晋北政廳佐々木事務官等ノ請

486

485

氏ニ依リ書翰石佛保存ヲ計畫致シタルニ對シ保存會ノ設立・保存
方法及調査實施等基本の方針ヲ指示シ實現ヲ促進セシメタリ

頁 249

REEL No. A-0283

0283

アジア歴史資料センター

自十四年三月十日蒙 疆 連 絡 部 (處理シタル重要案件)
至十五年四月廿八日

250

- 一四 三一 一 蒙疆連絡部開設並事務開始
- 大蒙公司設立承認
- 電信業務開始
- 三一四 軍、興亞院蒙疆連絡部其他機關ノ事務分界ニ關スル件決定
- 三一五 大同産業兩合公司承認
- 興晉磚瓦股份公司設立承認
- 淡陶無限公司設立承認
- 第一回連絡會議開催蒙疆中央政府組織案其ノ他承認
- 四二 蒙疆畜產股份有限公司設立承認
- 四四 無限公司鈴蘭牧場設立承認
- 四六 朝香官殿下御視察ノタメ御來張

總 務 政 務 政 務 政 務 總 務 總 務

- 一四 四一六 華北交通株式會社ト地域內鐵道委託經營ニ關シ契約締結
- 四一八 阿片取締制度實施ノ件
- 四一九 鹽專賣制度實施ノ件
- 四二一 蒙疆火柴股份有限公司設立承認
- 四二二 協慎無限公司設立承認
- 四二二 昭和興業兩合公司設立承認
- 四二九 蒙古王侯十六氏來張
- 一 郡煉瓦無限公司設立承認
- 五 德王蒙古聯合委員會總務委員長就任
- 五 北支蒙疆間經濟調整ニ關スル取扱事項ニ關スル件
- 五一〇 晉北仁義蛋業公司設立承認
- 五一六 蒙疆各長官懇談會設置ノ件
- 五二〇 通貨取締ニ關スル佈告令
- 五二七 蒙疆汽車股份有限公司設立承認
- 警察制度審議會設立ニ關スル件

政 經 政 經 政 經 總 經 總 經 政 經 政 經 總 經 總 務 務 務 務 務 務

- 一四 五三〇 北支蒙疆連絡道路委員會構成要綱決定
- 六二 櫻部隊長官殿下御來張
- 六三 下花園炭礦開發要綱院議決定
- 六五 家畜搬出取締法公布
- 支那關稅改正ニ關スル蒙疆側意見要望提出
- 司法制度審議會規則制定ノ件
- 昭和十四年度蒙疆物資對日供給額決定
- 暫行阿片管理令施行規則制定ノ件
- 蒙疆雲母股份有限公司設立認可
- 蒙疆銀行對第一銀行爲存取引契約締結ニ關スル件
- 鹽法制定公布ノ件
- 蒙古軍一部引繼
- 張家口、東京間直接無線電信取扱開始
- 鹽稅令實施ニ關スル件
- 支那關稅率改正會議開催ノ件

經政 經政 經經 經政 經政 經總 經

- 一四 七七七 蒙疆鹽業組合許可ニ關スル件
- 七一 七一一 蒙古統一政權設立要綱案承認ノ件
- 七一 七一一 第一次國防資源調査
- 七一 七一九 善隣協會ニ助成金交付ニ關スル件
- 七一 七一九 蒙古文化事業協會設立ノ件
- 七一 七二一 蒙疆地方ニ於ケル水害狀況ニ關スル件
- 七一 七二一 蒙疆興業公司設立ニ關スル件
- 七一 七二五 渾源水害ニ關スル件
- 七一 七二六 暫行阿片稽查令全施行手續、暫行阿片麻藥提成規則制定ニ關スル件
- 七一 七二七 蒙疆地域ニ於ケル徵稅機構改革ニ關スル件
- 七一 七二九 龍烟鐵礦株式會社設立ニ關スル件
- 七一 七三一 水害救恤ニ關スル件
- 七一 七三一 水害ニ伴フ暴利取締令公布
- 七一 七三一 蒙疆實業公司増資認可

經政 文文 文文 文文 文文 經文 經文

一四	八一	內閣參議大谷尊由氏張家口ニ於テ急逝	總經
八一	八三	蒙疆實業株式會社増資ノ件	政總
八一	八五	三政權統合法ニ於ケル徵稅機構ニ關スル件	政總
八一	八七	本院醫療防疫調查班來張	政總
八一	八九	政權統合法ニ關シ新聞發表禁止ノ件	政總
八一	八一	巨頭會議開催	政總
八一	八一	蒙疆不動産股份有限公司設立	經總
八一	八一	蒙疆商事株式會社設立ニ關スル件	經總
八一	八一	本院各資源調査班打合	文總
八一	八一	蒙古文化事業協會設立ノ件	文總
八一	八一	柳川總務長官來張	總經
八一	八一	大同炭ノ出炭量並對日供給量ニ關スル件	經調
八一	八一	百靈廟方面現地調査	經調
八一	八一	蒙古聯合自治政府主席副主席推舉ノ件	經調
八一	八一	蒙疆商事並大同炭鐵株式會社設立ノ件	經調

一四	九六	支那ゴム製品ノ取扱ニ關スル件	總經
九一	九七	原料阿片ニ關スル件	總經
九一	九八	春日部隊長御來張	總經
九一	九九	水害罹災民救濟用食料品其他輸出禁止ニ關スル件	總經
九一	九九	中華航空會社法ニ關スル件	政總
九一	九九	汪工作トノ調整ニ就テ意見具申ノ件	政總
九一	九九	普通鋼々材第三、四半期對日需要額提出ノ件	經總
九一	九九	重要物資需給ニ關スル件	經總
九一	九九	蒙疆銀行指導ニ關スル件	經總
九一	九九	大同炭、下花園炭並龍烟鐵鑽昭和十四年度下半年生產額及配給豫想數量提出ノ件	經總
九一	九九	第三國向輸出ヲ目的トスルカシミヤ原毛ノ對日輸出ニ關スル件	經總
九一	九九	支那產業資金調達狀況調査ノ件	文
九一	九九	管内各宗教團體ニ對スル宣傳、宣撫實施ニ關スル件	文

一四	一、二、二、三	大同炭礦株式會社設立ニ關スル件	經
一三	一、二、二、五	蒙疆調查資料ノ作成ニ關スル件	經
一三	一、三、三、〇	石炭ノ對日輸出ニ關スル件	經
一五	一、一、八	滿蒙間陸境貿易關稅調整方策ニ關スル件	經
一〇	一、一、〇	邦人食糧米ノ輸入機構ニ關スル件	經
一一	一、一、二	大同炭礦株式會社創立總會ニ關スル件	經
一五	一、一、五	大同炭礦既投資ノ評價要綱ニ關スル件	經
一七	一、一、七	二十八年年度關稅剩餘金ノ配當ニ關スル件	經
二〇	一、一、七	民國二十七年海關剩餘金ノ移付並配當ニ關スル件	經
二〇	一、二、〇	蒙疆調查資料作成ニ關スル件	經
三〇	一、三、〇	大同炭礦ニ對スル滿鐵既投下資本ノ利率並政府ノ保證金ニ關スル件	經
二二	一、三、二	通過查證ニ依ルソ聯邦通過規則ニ關スル件	政
二四	一、三、四	龍烟鐵礦拂込ニ關スル件	政

一四	一、九、二、九	永定河協同技術調查委員會開催ノ件	政
一〇	一、〇、二、二	地方長官會議全次長、參與官會議開催ニ關スル件	政
一〇	一、〇、九	北支在留邦人食糧米輸入配給統制ニ關スル件	經
一〇	一、〇、一、二	北支海關剩餘金二百萬圓ノ使用方ニ關スル件	經
一〇	一、〇、一、三	蒙疆實業會社決算及利益金ノ處分等認可申請ニ關スル件	經
一〇	一、〇、一、六	蒙疆文化指導計畫案ニ關スル件	文
一〇	一、〇、二、四	種用綿羊ノ輸入稅免除ニ關スル件	政
一〇	一、〇、二、八	國家總動員機密保持ノ爲發表禁止事項ノ件	政
一三	一、一、一	長蘆鹽輸入斡旋方依頼ノ件	政
一三	一、一、四	北支向綿布（不適合品）割愛方依頼ノ件	經
一三	一、一、五	中文ニ於ケル圓系通貨ノ統一ニ關スル件	經
一三	一、一、六	民國二十七年關稅剩餘金使用方ノ件	經
一三	一、一、八	大同炭礦株式會社設立要綱ニ關スル件	經
一三	一、一、九	中華航空株式會社法公布ニ關スル件	經
一三	一、二、一	蒙疆銀行對三井銀行爲存取引契約締結ニ關スル件	經
一三	一、二、二	中支那ノ經濟建設ニ對スル第三國ノ資本誘致ニ關スル措置要綱	經

一五 三一四 爲替資金對策打合ニ關スル件
 三、一八 昭和十五年第五分科第一期(四一六)對日期待需要量ニ關スル件
 三、二〇 日滿支石炭移動計畫概案ニ關スル件
 三、二二 花園炭礦股份有限公司設立認可ニ關スル件
 三、二六 官川大尉來部セラレ酒井長官ヨリ業務並蒙賜ノ政務概況ヲ御説明申上ク
 四、二 皮革製品所要皮革ノ換算ニ關スル件
 四、三 大同炭礦保晉爆發事故ニ關スル件
 四、四 龍烟鐵礦株式會社及大同炭礦株式會社ノ昭和十五年事業計畫及資金計畫ニ關スル件
 四、五 蒙疆產雜穀北支向輸出ニ關スル件
 四、九 汪精衛來張ノ件
 四、一〇 蒙疆ニ於ケル最近經濟界動向ノ概要調査ニ關スル件

經 總 經 經 經 總 經 經 經 經

一五 三一〇 大同炭礦ノ指導ニ關スル件
 三、一二 昭和十五年龍烟鐵礦生產額並ニ對日供給等ニ關スル處理方針ノ件
 三、一三 蒙疆ニ於ケル酒精製造事業ニ關スル件
 三、一四 龍烟鐵礦會社法改正ノ件
 三、一四 蒙古聯合自治政府、蒙疆銀行間ノ借款契約締結通報ニ關スル件
 三、二四 龍烟鐵礦會社法改正ノ件
 三、二四 善隣協會ノ財産讓渡ニ關スル件
 三、二八 永定河上流地方調査ノ件
 三、二九 小麥及雜穀ノ北支向搬出條件ニ關スル件
 三、三一 昭和十五年對日期待アルコール所要量ニ關スル件
 三、二 下花園炭礦開發用機械ノ關稅免除ニ關スル件
 三、一〇 生ゴム所要量割當要望ニ關スル件
 三、一〇 物動計畫ニ關スル蒙疆院第一次査定案ニ對スル復活要求ノ件

經 經 經 文 經 經 經 經 經

498

497

四二二	新支那中央政府樹立ニ伴フ敵側ノ反日的策動防止ニ關スル件	政
四二二	貿易統制法並ニ通貨取締令及其他ノ法令ニ基ク輸出制限物品等ノ取締ニ關スル件	經

255

REEL No. A-0283

0283

アジア歴史資料センター